



のびのこちゃん

横浜市立竹山小学校 学校だより

あ お だ け



令和8年9月30日 10月号 たけまるくん

「協カレンジャー」となって

校長 松本 真理

朝夕の涼しさと虫たちの音色に秋を感じる今日この頃。

先日、5年生が稲刈りを行いました。地域の方々のご協力を
いただいて、子どもたちは稲を刈るやり方やその後のはざか
け（「はさかけ」ともいう）のやり方を習いました。子どもた
ちだけでなく、地域の方たちも「協カレンジャー」となり、暑
い中何度も来てくださって、子どもたちを助けてくださいました。



大人の方はご存じかもしれませんが、1本の稲穂には50～100
粒くらいお米がつくそうです。（品種に
よって違います。）一粒の種もみから1
本の苗ができますが、この苗を田んぼに
植えるとくきが増えて1本だったのが10本になります。（これ
を「分げつ」と言います。）まいた種もみ1粒が500粒～1000
粒、つまり500～1000倍になるわけです。すごい力です。



「協カレンジャー」も500倍になったらすごいです。まずは、こつこつ竹山小の全員



が「協カレンジャー」になることをめざします。ちなみに5年生の稲
刈りでは、はさかけのために2人で協力してひ
もでしぼる作業を行っていました。子どもたち
は、この活動が児童会のスローガンである「協カ
レンジャー」につながっている、と気づいています。



竹山小学校では10月17日が運動会です。全校児童が参加する大きな行事です。子ども
たちは「協カレンジャー」となって一生懸命活動することでしょう。活動するだけでなく、
子どもたちの心の成長が楽しみです。保護者の皆様、地域の皆様、今月も子どもたちの成長
のためにさらなるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。